東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学新聞会
男子部
新宿区柏木2の600
TEL(37)2311
代表人　阿井清一
女子部
台東区上野桜木町31
TEL(82)4004
代表人　檜垣宏子

純喫茶
Coffee and Music
ボン
東中野駅
交番口前
TEL (36) 1839

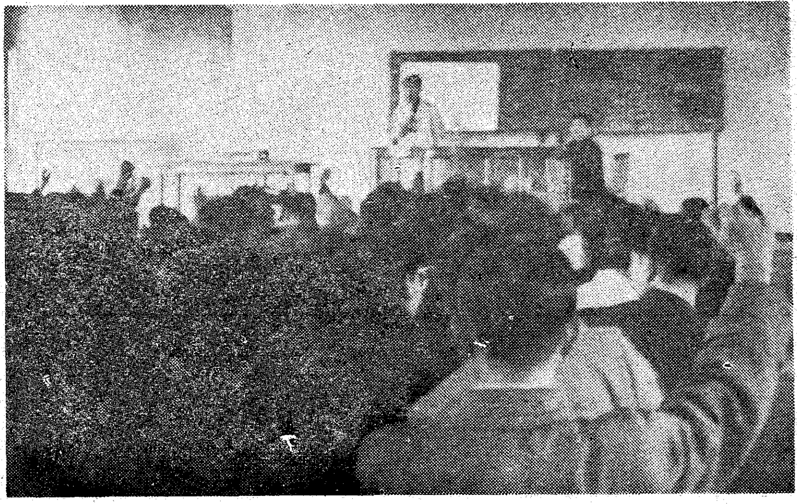
両部　学生大会開く

規約改正原案を提出

男子部＝一月二十九日　女子部＝一月十七日　承認さる

男子部自治会および女子部学生自治会では一年越の両部規約改正原案がまとまったので、男子部では旧ろう六日、女子部は十三日、各講堂で三十二年度後期学生大会を開き全学生に原案に対する承認を求めた。しかし両部とも時間切れになったため、男子部は一月二十六・七日、女子部は一月十七日それぞれ学年別に採決を行い承認多数で可決され、ここに新規約は発効した。

男子部



三十二年度後期男子部学生大会は去る十二月六日（金）十一時半より全学年各々授業を使って四階講堂に於て約四百二十余名出席のもとに開会された。

まず本大会開会に先立ち古木自治委員長より、開会の辞があり、ついで昨年度社会問題として反響を強めていた原水爆禁止運動に対する参加経過報告がなされた。次にこの日最大の関心事である自治会規約改正案の承認の問題が取上げられ、再び古木自治委員長より規約改正に対しその目的と審議内容及びその経過につき説明がありこれより議事進行のため三年田部井君が議長となり書記に三年田中君が選ばれると共に本改正案の承認決議にへとうつった。

最初に自治会々則原案前文が読み上げられたが、異議なく多数の賛成が得られ、それより次々と原案に沿って賛否及びそれ等に対する意見、質問が討議された。

本規約改正の中心である組織機関においては、従来の内容より複雑化し、執行委員会に属していた東薬新聞部は本年より、自治会の一つの重要なる機関として〃新聞会〃と名称を変え、自治会発展及び一般学生啓蒙のため、活動する事になった。

この組織の原案承認では、唯反対者五名を数える外、全員賛成で原案承認が簡単になされた。

その後前記組織原案執行委員会中に新聞部と別個に出版部なる名称の部を新しく設けた事について、一部より現在の新聞部との性質の相違につき説明要求があった。しかしこの問題に対してはすでに出席全員の承認すみになっているので単一質問の型で取上げられた。

次に予算及び会計の改正事項承認においては、古木委員長より本改正規約中会計第一節自治会会費の項における会費値上げについて説明があり、入会金の五〇〇円を一、〇〇〇円に、また会費年額七〇〇円を八〇〇円宛に値上げする案に賛否が取られたが一般学生の自治会運営費不足問題に対しての解り切った判断からか、出席全員の賛成が得られた。

更にこの項に関係する東薬祭運営費値上げについての問題が本年度東薬祭運営委員長（三年東君）より緊急動議として提出され、会計内容と来年度東薬祭運営のための費用不足の件説明があり、それをめぐって、かってなかった程の議論が沸騰したが、結局定刻の時間を過ぎて運営費を寄附の形で各学年より徴収し、それに当てることに決定した。

続いて再び前記改正規約承認へとうつったが、こゝで委員長より、定刻を過ぎた事と、何回もの延長時間交渉がまとまらず、一応大会を打切りとし、放課後また継続大会を行う案が動議として出され、皆んなの賛成を得、もし放課後参加人員がみたない場合流会となし後日その他の議題を含めて学年大会を行う条件で散会した。

しかし放課後四時からの継続大会は参加者定員にみたないまゝ流会となった。

なお一月二十七・八の両日新規約に対する承認投票が行われ賛成過半数で承認された。

一月二十八日の学年投票の結果は次の通り（）内は投票総数

一年生	（賛成）九二	（一一一）
二年生	〃　一二八	（一四七）
三年生	〃　九〇	（九八）
会計	〃　三一〇	（三五六）

女子部

第二回女子部学生会総会が十二月十三日（金）十二時半より、女子部講堂において開催された。議題として取り上げられたのは

一、学生会規約案審議
一、薬連活動報告
一、原水協加盟の件

であり、議長に篠田（2）さん、副議長に大藤（2）さんが承認された後直ちに学生会規約案審議から始められた。

まず会長よりこの規約改正の目的及び改正点について説明があった後直ちに審議に移った。

一番問題となったのは女子部自治会組織についてであり活発な質疑応答が繰返された。その主なるものは組織の執行委員会中に学友会委員というのは現在の学友会三部長とは別なのか、また学友会部長としてはどうかとの質問に対し今までと違って学友会選出の委員は執行委員の一部として執行部の仕事をして欲しい、そのためには部長と兼任では仕事が多くなり過ぎると解答があった。更に執行委員会と自治委員会の横の連絡はどうかとの質問に対しては執行委員長と自治委員会の常任議長団が連絡をとることと解答された。副執行委員長の選出方法は執行委員長の指名で自治会において承認だけでは不充分であり全学生の直接の承認を得る必要があるとの意見が提出され条文にその旨を明記するべきか否かで採決した結果、過半数をもって可決された。次に特別小委員会と執行委員会の関係、例えば特別小委員会から問題を提出する場合の方法についての質問があり、この場合は執行委員会を通して自治委員会に提出すると解答があった。更にそれを条文に入れた方が良いとの意見が出たため、入れるべきか否かで採決をとった結果過半数をもって条文に入れることに決定した。次に再び自治委員会と執行委員会との関係をもっとはっきり条文としておくべきであるとの意見が出たため、その条文を入れるべきかの採決が問われ過半数をもって入れることに決定 次にこの条文に対する案を募ったがなかったため再び規約改正委員会で条文を作成することになった。なお新聞会会長の選出方法を明記する必要ありとの意見も出たが残る時間少なくなったため一応採決を取って決定した事項を再び規約改正委員会を開いて協議し必要な条文を作成しこれが自治委員会で承認されたならば各学年に持ち帰って級会において承認を得ることに決定して学生会総会は閉会した。なお残る議題二題は早急に解決を要する問題ではないのでまた改めて日を決めて討議することになった。

規約改正委員会では直ちに以上の問題を協議した結果を一月十日学生会委員会に提出した。こゝで過半数をもって承認されたので級委員により各級毎に級会を開いて採決をとった結果賛成者四〇五名を得たのでこゝにこの規約案は承認されたものと認めた。

なお規約中にもある様にこの規約案は昭和三十三年四月一日より施行されるが、会長選挙のみは例外として来年度の会長は今年度中に選挙することに全学生の承認の下に決定した。

規約改正　審議経過と改正点　＝女子部＝

昨年四月以来懸案であった学生会規約の改正が去る一月十七日各級別採決の結果、全学生数の三分の二以上の賛成を得て改正案の可決をみるに致った。

規約改正のねらいは。❶従来の学生委員会及び執行委員会の内容を変え特に執行委員会が活動出来る様にし学生会の活動を行いやすくすること。❷会長副会長の選出を従来新学期に入ってから行ったものを前年度のうちにこれを行い新年度の学生会及び各部の活動に支障をきたさないようにすること。❸学生総会の開開催期日その他の細目であった。

又男女子部間の話合いにより、両部とも規約改正を行うこの際に機構をなるべく共通のものとし将来統一された規約にするための基礎を作ろうとの意見の一致をみて規約改正男女子部合同委員会をもつ運びとなった。

規約改正委員会発足以後の足どりをかえりみると左の通りである

六月六日　学生会委員会にて規約改正委員会を作ることに決定　委員の選出
六月十日　規約改正委員決定　委員会より委員長以下五名、執行部より三名以上九名
六月十七日　顔合せ
六月二十四日　第一回規約改正委員会　問題点についての話合い
規約改正男女子部合同委員会第一回、顔合せ及び責任者記録係選出、男子部より機構案提出
七月四日　第二回改正委員会　機構案作成　自治委員会と執行部の位置が問題となる
七月五日　第二回合同委員会　機構案審議決定　この機構に基づき細目は男女子部別に作成することに決定
九月十三日　第三回改正委員会　役員選出法について審議
十月二十一日　第四回改正委員会　章をたてる項目について審議
十一月二日　第五回改正委員会　総則、組織、学生総会の各章について審議
十一月八日　第六回改正委員会　自治委員会、執行委員会各章につき審議、合同執行委員会につき討議
十一月十二日　第七回改正委員会　執行委員選出法について審議
十一月二十一日　第八回改正委員会、自治委員会の章につき審議
十一月二十二日　第九回改正委員会自治委員会について審議決定
十一月二十三日　第十回改正委員会、執行委員会、級会、学友会、新聞会、会計、監査委員会、顧問及び参与、補則の各章につき審議決定
十一月二十六日　第三回合同委員会、合同執行委員会及び前文につき審議決定
十一月二十八日　第十一回改正委員会、特別小委員会の章及び会計の委託につき審議決定　ここに一応改正委員会作成の規約改正原案の完成をみた。
十一月二十九日、十二月六日　二回にわたり学生委員会にて改正案を審議、学生委員会を通過
十二月十三日　学生総会　副執行委員長の選出法　執行委員会と自治委員会との関係及び特別小委員会と自治委員会との関係を明らかにすること、新聞会の役員選出法につき改正案及び提案が出され時間切れのためこれを改正委員会で審議し、さらに学生委員会で審議し、各クラス別に討議採決し、これを総会における採決に代用させることに決定
十二月十三日　第十二回改正委員会　総会での問題点につき審議
十二月中に委員会が開催出来ず　一月に持ちこす
一月十三日　学生委員会にて改正案審議決定
一月十七日　学生委員会　各クラス別採決の結果総学生数の三分の二以上の賛成を得てここに規約は改正された。（但し四年生は委任）

以上の如くして改正された規約と従来の規約との主な相違点は左記の通りである。

名称「新規約」では学生自治会　「旧規約」〃学生会
前文「新」前文を設け男女子部間の協力を明文化　「旧」なし
学生総会「新」開催期日を前後期各一回とした　「旧」休暇前三週間以内ときめられていた
委員会「新」自治委員会及び執行委員会の各章を設け、内容をかえ、かつこれを明記した　「旧」両委員会の内容があまり明瞭でなかった
執行委員長「新」執行委員長のみ選挙とし副執行委員長は委員長が指命しこれを信認投票にかける、又改選期日は前年度の一月とする　「旧」学生会会長副会長とも選挙により四月に入って改選した
合同執行委員会「新」必要に応じて開くことが出来る　「旧」存在せず
特別小委員会「新」特別小委員会の章を設け執行委員会及び自治委員会との関係及び内容を明記　「旧」位置が不明
新聞会「新」独立した機関とし会計監査は両部合同で行う　「旧」執行部に属し会計監査は男女子部別々に行う

次に学生総会で問題になった点につき改正委員会で審議し全学生の承認の下に決定した改正個所をあげる。

第二十五条…執行委員会は本会の最高執行機関であり学生総会並びに自治委員会の決議に従って自治会のあらゆる活動を総括し執行する。

第三十条（二）…副執行委員長一は委員長が指名し信任投票を行い有効投票数の過半数により承認されるものとする。

第四十条…特別委員会の活動方針及び決議事項は執行委員会を通じて自治委員会に提出するものとする。

第四十九条…新聞会は左記の役員を置き新聞会内で互選する。新聞会々長一名副会長二名会計二名。

『選択制』は廃止

国試採点基準を改正

厚生省では昨年十二月四日神田橋の東京都薬剤師会館で薬剤師試験審議会を開いたが、その結果『本年度からの薬剤師国家試験は、

一、試験問題　二、採点方法　三、合格水準

等の面で大改革を行う』事が決定した。

これは最近の薬科大学並びに薬学部の濫立、これによる薬剤師の増加及び質の低下等の点から考えて討議されたと思われる。尚当日の第十五回薬剤師国家試験実施に関する決定事項は次の通りである。

一、実施時期

本年四月に実施する。尚学説と実施試験を同時に行う事については薬事法の改正もしなければならない（現行法では学説試験に合格した者のみが実施試験をうけられる）ので後日の問題として検討する。

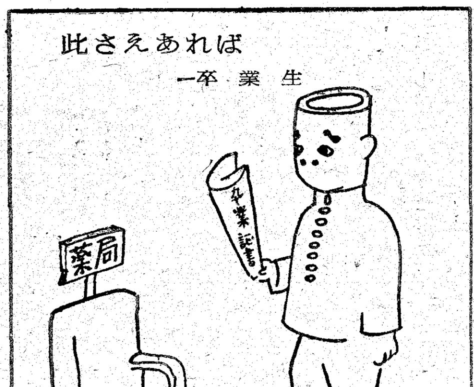
二、試験問題

学説試験の試験問題は現在の薬科大学で修得した一六課目全部から出題する事にする。特に従来は選択法を採っていた為に、受験者の嫌いな問題に関しては回答しなくてもよかったが第十五回からはこの方法を全面的に禁止し、出題問題は総て回答しなければならない。（選択制の廃止）

三、採点

採点は各課目毎について行なわれる。そしてこれを総合し一定点以上の受験者を合格させる。但し総合点数は合格点数に達しても、十六課目の中の一つの課目でも零点または他と比較して非常に低い点数であった場合には、その受験者は不合格とする。

東薬戯評



此さえあれば

一卒業生

論説

東薬祭の運営について

一時成行きが危ぶまれた東薬祭（学術祭）も過日の運営委員会で来る五月十、十一両日にわたって男子部を会場にして開催すると決まった。

東薬祭も回を重ねようやくその運営方式も軌道に乗り一般学生間にも東薬祭に対する関心が高まりつゝある。現に昨年の文化祭には前夜祭とまではいかなかったが、弁論大会等が行われ、文化祭の意気を盛りあげているのである。

然し現在の東薬祭の運営方式――学術・文化・体育の三本建て――を改めて、来年度からはこれを一本化して一週間のうちに行ったらどうであろうか。と教授会側から申入れがあり、東薬祭の一本化を主題としての学生と教授との懇談会を希望して来た。

かねてから教授との懇談会を開こうと計画していた執行委員会側も喜んで準備にとりかかっている。

教授会側から提出された議題と執行委員会側が話し合おうとしている題目とはかなり隔りがあるが普段あまり膝を交えて教授と語り合う場を持たない我々にとって、この様な場を持つ事は有意義な事である。

東薬祭の一本化については、種々と問題点がある事だろう。まず開催の時期であるが、現在の学術祭は学外に薬学の啓蒙を目的としている。然し文化・体育両祭は一般学生の生活が偏り過ぎているのを矯正し、文化祭を通じ文化方面にも関心をもたせ体育祭を催すことにより体力的にも精神的にもしっかりした東薬生を作り上げる事を目的としてそれぞれそれに適した時期に行っているわけである。

今、東薬祭を一本化するとなると、東薬祭関係者は現在以上――今でもその準備に忙殺されている――に忙がしく何んの為の東薬祭であるかわからなくなってしまう。

又学術祭・文化祭を分けて行うことになったのは、両者を一緒に行うと、学術祭は学外を対象としている関係上学術祭に重きを置き文化祭が付けたしの様になる、それを両者独立した、学生全体の祭典にしようとした為と聞いている。

どうしても東薬祭の三本建てが駄目というなら、春には現行通り学術祭を催し体育祭・文化祭を秋に行うことにしたらどうであろうか。

昨秋の文化祭の時にも問題となり、弁論大会においても話題となった前夜祭の事、或いはファイヤーストームの件についても東薬祭開催の時期にからんで当然議題にのぼると予想され得る。この事に限らず、教授との懇談会を通じて、普段我々が納得の行かない点を率直に話し合い わだかまりを解く事により、理解を高め信頼を深める事が必要であろう。

そうする事により、より良い東薬生、より明るい東薬生となり、歴史と伝統に恥じない有意義な四年間の大学生活を送ることができるのではないか。

部外活動への期待

東薬生に限らず、「在学中の四年間を有意義に過したい」という気持は、どの大学生にも多かれ少なかれある事であろう。この気持がどの様な形で実行されようと、また「適当に遊び、適当に勉強する」という処世術めいたものにいかに変ろうと、精神的にも肉体的にも烈しい力で伸びてゆこうとするこの重要な人生の一時期が無駄に過ごされる事のない限り、何等とがむべき点はない。或人は学業に、或人は文学にまた或人は部活動に、その人によって様々な熱中の仕方があるだろう。学生々活を有意義たらしめるのも結局は各個人めいくの自覚と熱意に帰着する。例えば部活動についていえば、これが学生々活の一面を潤おすものとするのも、将来の楽しい思い出とするのも、部員の熱意の現われ方如何である。どんな立派なテーマを選んでも、部員に盛上りと協力がないのならその部は難破船の様に頼りのない存在となってしまうだろう。東薬祭を前にして各部の新部長が次々に決定しているが部長たるもの先ず心すべきは部員を纏めてゼミナールにしろ実習にしろ常に融合した場を作る事である。部員も部に加入して少しでもやろうという気持があるのなら、積極的な協同精神を発揮するのが当然である。

次に部の特殊性から考えて部外活動のあり方に触れて見よう。昨年某部が新劇の芥川比呂志を招いて講演会を開き、可成り好評だった。学術部が何の関係もない芸術分野に手をつけた意図は判らないが、理科系の学生の文学的教養への強い願望（それが一部の学生であっても）をいくらかなりとも充たした事は事実であろう。こうして見ると、部は何も部そのものの範囲内に閉じこもって活動するだけでない、先述した様に部員の熱意と自覚があれば何か他方面への活動の分野が開けるのではないかという印象を受ける。そこで現在の薬連の存在を活かす意味でも各薬科大学の共通せる部が相互に密接な連関を保って相知り相学ぶという親睦の雰囲気を持つという方向への動きも考えられる。写真部ワンダホーゲル部、そして新聞会等が他大学と連盟またはクラブを結成した事はその例としてよいだろう。そこまで行かなくとも、定例集会、文献交換、研究発表会等をおこなっても決して無意義ではあるまい。これによって部の長短所を知り、活かし訂正して部発展の一助とすれば充分な成果を果したものといえるだろう。そしてこれも有意義な学生生活への気のもち方に依って決定されて来るのである。

二月試験は見送り

一日一課目試験は解消か

本年の後期試験は予定通り三月六日の入試合格発表後に続いて行われるが、かねて噂のあった試験二月繰上げ説は旧ろう十二月二十日に開かれた教授会でも一応議題とはなったものゝ、非公式ながら見送られる形となった。現在の授業日程（特に実習）では無理な点と、四学年の追試験（所謂救済追試験）に次いで卒業試験、三月一日に始まる入学試験を前にして、この間に各学年の後期試験を入れる事は、現在の教職員数からして到底不可能である点がその理由である。しかし、二月試験は教授、教職員間に長期の休暇に依り研究に専心出来る点、また特に、四月に開かれる学会への準備に充分な時間をさく事が出来る点で可成りの支持を受けている模様である。学生の面からいえば、クラブ活動アルバイト等で利点があるものと考えられ、昨年十二月六日の男子部学生大会でも自治会側から意見が出たが、正式な意思表示とまではいかなかった。現在の状態では学生側、大学側とのある程度の話合いが必要であり、その決定にはなお日時を要するものと予想される。なお、本年には研究助手が四名入る事が決定しており、昨年前期試験で止むなく実施した一日一課目の試験日程も、人手緩和から解消するものと見られる。

東薬祭予算五九万円

全学生からも徴収

一月十四日男子部学生ホールに於て東薬祭運営委員会が開かれ、本年度の学術、体育、及び文化祭の予算割当が決定した。先づ会計部からの原案即ち▲学術祭三五〇、〇〇〇円▲体育祭五〇、〇〇〇円▲文化祭一七〇、〇〇〇円を討議した結果、体育部から五万円では思う様な活動も出来ないから一万円増して六万円にして欲しい旨がだされたが、結局過半数の賛成を得て会計部の原案が承認された。次いで一月二十日の委員会では東薬会からの収入が予定額よりも二万円多くなったので、一万円づつを学術、体育祭にまわす事が決定したので、結局

▼学術祭	三六〇、〇八三円
▼体育祭	六〇、〇〇〇円
▼文化祭	一七〇、〇〇〇円

になったわけである。

【収入の部】

男子部後援会	一二四、〇〇〇円
女子部後援会	一一八、〇〇〇円
学生自治会	一二〇、〇〇〇円
東薬会	七〇、〇〇〇円
東薬祭費	一二一、〇〇〇円
繰越金	三七、〇八三円
合計	五九〇、〇八三円

【支出の部】

学術祭	
学術部	二一〇、〇〇〇円
庶務	二五、〇〇〇円
委員長費	三、〇〇〇円
会計	七〇〇円
宣伝	二五、〇〇〇円
渉外	一五、〇〇〇円
装飾	一〇、〇〇〇円
会場	二〇、〇〇〇円
厚生	三、〇〇〇円
文化部	一三、〇〇〇円
予備費	二五、三八三円
合計	三六〇、〇八三円

尚、先日東薬祭経費の不足分を学生から一人当り一〇〇円徴収する案が自治会からだされ、学生委員会及び各学年の承認を得たので、学生委員会の分十二万円が収入の部にいれてある。

なお一月二十一日予算委員会で最終的に学術祭の部予算が決定した。カッコ内は請求額。

衛研	二二七〇〇円	（四七六一〇）
製剤	二二七〇〇	（三八五九〇）
生研	二二七〇〇	（三一〇三七）
微研	二二七〇〇	（一六二六〇）
植研	二二七〇〇	（三〇〇六〇）
化研	二二七〇〇	（二九五三七）
分析	二〇三〇〇	（五四三九五）
薬研	一八五〇〇	（一八四七〇）

飯田助教授

京大へ留学決定

男子部無機化学教室の飯田英夫助教授は三月京都大学薬学部に留学される。同助教授は同学部薬品化学教室主任教授富田真雄博士の許で約一ケ年間、有機合成特に「含窒素異項環」化合物につき研究をされる予定である。なお、この間の山岳部顧問は朝比奈教授、無機化学教室実習の責任者は加納先生が各々代行する事に決定した。

薬味

歳月めぐりて、今ここに卒業証書を受くる身となりぬる君等の嬉しさはそもそも何にもたとうべき

× ×

▼この歌を読んで卒業式に蛍の光の代りに歌った事のある人もいるかも知れない。大学生活四年間を送った三百名近くの人々が間もなく巣立って行く。▼在校生にあっては愈々学期末に近ずき何となく学内も騒々しくなって来たが、更にこの慌ただしさに拍車をかける様に三十四年度東薬祭について学術、文化体育の各祭を統一して一定期間内に全部をまとめて行ってはとの意向が教授会から学生側に提案され、関係者一同大慌て。一月十四日に開催された運営委員会では、学術祭を五月十、十一日に、体育祭を六月中旬に、文化祭は秋にと内定して、予算配分も決定、各部ともその線で準備を進めて来ているので、なおさら慌ててしまう。▼そもそもこの東薬祭、初めの頃は、体育、文化、学術に岐れず、一本化されて行われて来たものであるが、世の中の複雑化、東薬祭の規模の拡大化に伴い、自然に分散されて来た訳である。ここでまた一本化して行うという事、これには、我々は敢えて反対はしない。一本化して外見上は更に立派に東薬祭を行える様に見えるし、また一部の人々には、この一本化を望む声があったのは確かである。運営委員会の中でも、宣伝部、渉外部の様な対外関係を扱う委員にとっては、願ってもないことといえよう。▼というのは、対外関係において常に耳にすることで、昔は東薬祭は一本であって、すっきりしていたが、最近の東薬祭は、やれ学術祭だ、文化祭だといって真の東薬祭、または東薬祭の重点は何処に置かれているのだかさっぱり判らないといわれ、東薬祭自体を説明するのに一苦労する始末である。一方これと反対に学生の間の反対論として文化祭、学術祭、体育祭、夫々を行う人間が本学みたいなカレッヂでは、人数が少い関係上、どうしても同一人物となりやすい。それ故、一定期間内での三祭の準備は不可能だという。▼だがそれ丈であろうか、中には東薬祭に全然ノータッチな人間もいる、そういう人に皆が一団となって我々の東薬祭に参加するようになればこんな懸念も案外軽く飛んでしまう様な気がするのだが

WV部・スキー講習会開く

野沢温泉で

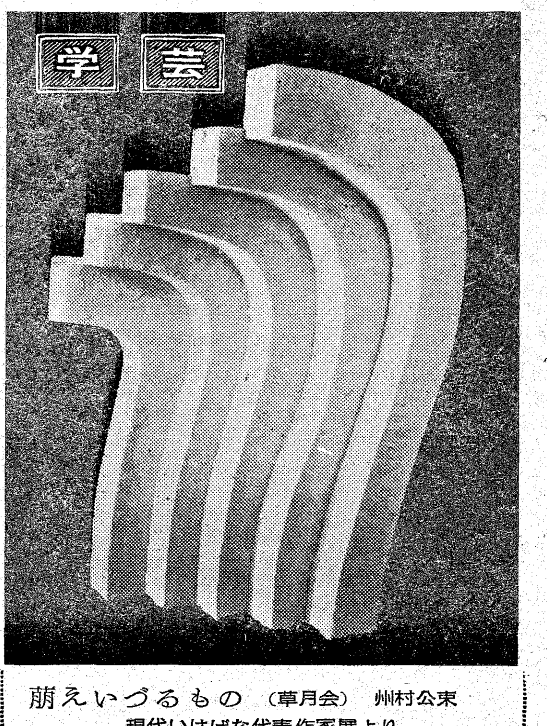
ワンダーフォーゲル部では一月三日より八日まで冬期休暇を利用しスキー講習会を長野県野沢温泉スキー場にて開催した。この講習会はW・V部が部昇格以来初の試みとして広く一般募集したもので約五十名の参加者があった。今年は異例の暖冬異変で各スキー場は雪不足で大分困ったようであったが野沢もこの例にもれず雪不足で講習会開催も危ぶまれたが、三日からの降雪で事無きを得た一幕もあった。指導には地元スキークラブ会員三名があたり初心者もかなり上達したようだった。

◆肉筆手本による
ペン字通信教授
指導　金井健翁
社会に出て直ぐ必要に迫られるペン字は、学生時代に、ぜひとも修得しておきたいものの一つです。幾多の経験を基に、自信と責任を持って御指導申し上げます。御希望の方は左記又は一年金井道子迄お申越下されば会則を進呈致します
東京ペン字研習会
東京都西多摩郡五日市町一〇二〇
振替　東京　四八六一三番

薬学生に好評の教科書、参考書

薬用植物学総論　薬博 木村康一　薬博 木島正夫　共著　B5判 二五〇頁 定価 五〇〇円
薬用植物学各論（新刊）　薬博 木村康一　薬博 木島正夫　共著　B5判 三二〇頁 定価 一二〇〇円
植物形態学の実験法　薬博 木島正夫著　A5判 三〇〇頁 定価 五五〇円
最新生薬学　薬博 刈米達夫著　B5判 四五〇頁 定価 一八〇〇円
薬局方通論（新刊）　薬博 刈米達夫著　A5判 二五〇頁 定価 五〇〇円
薬理学（改訂版）　医博 宮崎三郎著　A5判 四五〇頁 定価 九〇〇円
微生物学（新刊）　薬博 金子太郎著　A5判 三〇〇頁 定価 六〇〇円
微生物学実験書（新刊）　薬博 太田達男著　A5判 一五〇頁 定価 三五〇円
生物学　太田達男・高取吉太郎　石川信雄・一番ケ瀬尚　共著　B5判 四〇〇頁 予価 一二〇〇円
薬化学小史（新刊）　薬博 村山義温著　A5判 二〇〇頁 定価 三〇〇円
有機化学（改稿版 上・下巻）　薬博 石渡三郎著　上巻 三五〇頁 定価 五〇〇円　下巻 四〇〇頁 定価 六〇〇円
理論 応用 実験有機化学　薬博 石渡三郎著　A5判 三〇〇頁 定価 六〇〇円
常用化学定数表　理博 落合英二　薬博 木村健次郎 外二名 共編　B6判 五七〇頁 特価 七〇〇円
有機定性分析（改稿版）　薬博 百瀬勉著　A5判 二四〇頁 定価 三八〇円
定量薬品分析（新刊）　薬博 百瀬勉著　A5判 二七〇頁 定価 五五〇円
無機製造化学（上・下巻）　薬博 亀谷哲治著　上巻 二五〇頁 定価 八〇〇円　下巻 三八〇頁 定価 一二〇〇円
有機製造化学（上・下巻）　薬博 亀谷哲治著　上巻 二八〇頁 定価 八五〇円　下巻 二八〇頁 定価 八五〇円
香粧品の製造化学　薬博 樋口武夫著　A5判 三三〇頁 定価 六五〇円
最近の農薬　日本植物防疫協会 間瀬定明著　A5判 三〇〇頁 定価 六〇〇円
薬剤師国家試験問題と解答集　薬学研究会編　学説編 三五〇頁 定価 三〇〇円　実地編 六〇頁 定価 一〇〇円
分析化学演習（新刊）　薬学研究会編　B5判 一六〇頁 定価 二二〇円
有機化学演習（新刊）　薬学研究会編　B6判 一三〇頁 定価 二二〇円
無機化学演習（新刊）　薬学研究会編　B6判 一三〇頁 予価 二二〇円
理論化学演習（新刊）　薬学研究会編　B6版 一三〇頁 予価 二三〇円
以下続刊

発行所　廣川書店
東京都文京区春木町二丁目六番地
電話(92)一二一七番



萌えいづるもの（草月会）艸村公束
現代いけばな代表作家展より

青森県 下北半島を調査して

僻地開発の指標

不毛の地に科学のメス

＝資源開発に望まれる基礎調査＝

水島正美

＝三ヶ年にわたる現地調査＝

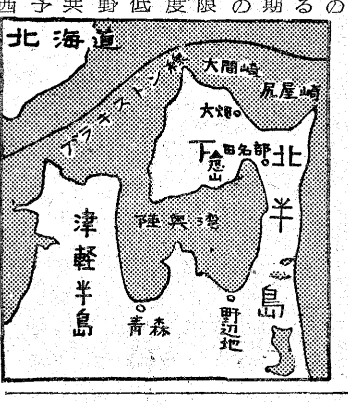
本州北端に斧形をした下北半島が突き出ている。この半島は生物地理学上有名なブラキストン線、すなわち津軽海峡をへだてゝ北海道の渡島（オシマ）半島に対する点で、生物学上すこぶる興味深い地域である。このことは、同半島のほゞ中心に位置する恐山（オソレザン）が二ホンザルの最北自棲地であるという一事からもうかがうことが出来る。農業方面からは、此所が常習的な冷害地として生産が極めて低く、青森県内でも最も開発がおくれた地方である。しかもこの地域は久しく軍の要塞地帯として科学的研究のメスを入れることを禁ぜられ、今日までその組織的な調査研究はほとんど行われていない。

私が主に勤務する資源科学研究所は動物・植物・地理・地質・鉱物・人類などの諸部門の研究者が集っており、しかも少壮の者が多いので事をなすに当って比較的容易に各分野の協力と分担とを得られるという利点（と言って良いだろう）がある。以前から、これを生かして一つ綜合研究に取り組みたいという希望を一同抱いていたが、昭和三〇年になってそれがやっとかなえられた。それが下北半島の研究であり、その開発に関する綜合的研究というテーマで文部省科学研究費の綜合研究費の交付を受けた。以来三ケ年にわたって現地調査と室内研究とを続け、既に二回の研究報文集を出している。

私達は文頭にあるような理由から「**下北半島の開発に関する綜合研究**」を撰びこれに取り組んで来たが、それは行政や技術の立場を一歩離れて、あくまでも純科学的立場から諸問題を研究し、その成果を世に提供するのを目的としている。このような研究結果は一見人間の経済生活に別段の関係がないように思えるが、実は非常に大きな影響力を持つものである。従来の各地に於ける開発計画で、失敗したものを数えられるというのも、実はこのような基礎的研究の不足から起ったものであることを忘れてはならない。

＝独自の開発計画が必要＝

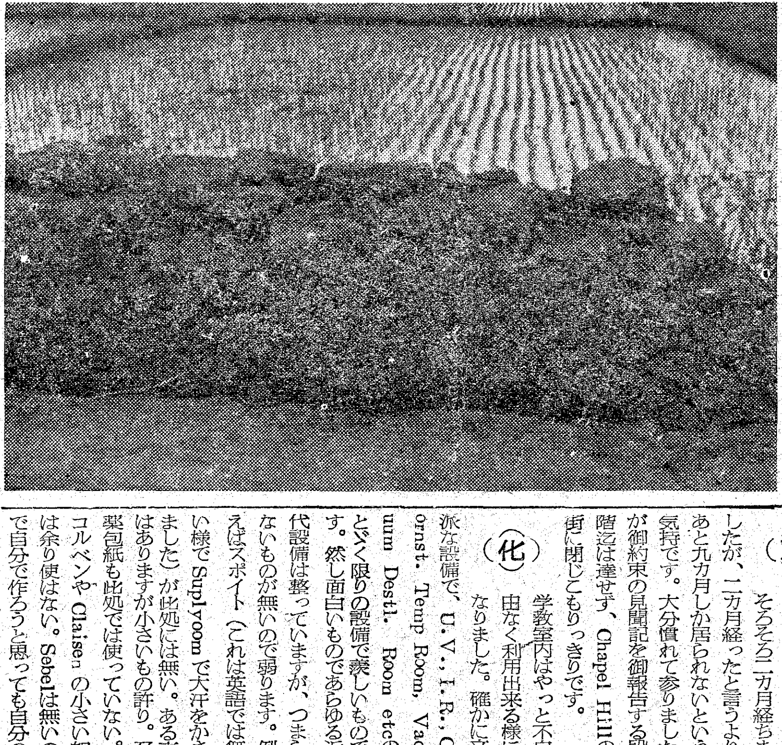
下北半島はその位置が北に偏するため、野外調査期間は六－一一月の六ケ月間に先ず限られる。三〇年度は半島の中央部低地帯の田名部平野に主力を注ぐと共に、次年度への予備として東部と西部とを概観した。三一年度には前年の研究結果から浮び上った問題点を各専門別に着手することゝし半島全域に各員が出かけた。三二年度はこのテーマで科学研究費を交付される最終年度でもあるので前三ケ年の調査研究のまとめを目指して重点的な地域調査を行った。第三年度の成果は来る三月中に出版される予定である。なお、此のような僻地の調査には現地の人人の協力を大いに必要とするが、幸いにもこの点は地元の理解を得て、私達の仕事を進展させることが出来た。以上の経過を経て行われた私達の研究は、以下列記するような成果を収め得た（三二年度を含まない）。



（A）気候とヤマセ　下北半島の気候について一九三五年来十数年間の田名部測候所の資料を検討した結果、裏日本的気候型に入ること、秋田に比べて四－八月の農作物生育期間において気温で三度C低く、雨量で一五〇ミリ少くなっていること、これに相当する気候の所は世界中に殆ど他にないことが分り、独自の開発計画の必要が痛感された。次に作付面積の大きい作物八種をとり、カロリー計算による土地生産力を検討した結果、最近五ケ年の生産力は昭和初年一〇年間に比べて一六パーセントふえており、いわば順調な進み方をしているが、将来技術と経営との改良によって、なお現在の二七パーセント位は上昇させ得ることが気候学的に判明した。一方、猿ケ森で行ったヤマセ（主に六七月頃に吹く冷い東風）の実測によって、高さ一メートル位の防風垣が大きな防風林と等しい位の防風、昇温の効果を持つことが分った。

＝数回の隆起で半島誕生＝

（B）地形　尻屋崎を中心とし、西は大間崎、南は猿ケ森にかけての海岸地形を調査した結果往時桑畑山、片崎山が島であり、高さ二七〇－四〇〇メートルの面は侵蝕平坦面であること、其の後数回にわたる隆起によって五つの段丘が出来たこと、尻屋－田名部方面は第四段丘、大畑方面では第五段丘が広い面積を占めること、尻屋付近の海底地形が東にゆるやかなことなどから下北半島の出来上る際の地盤運動がはっきり分って来た。要約すると、先ず七〇メートル位隆起して第一段丘、次に四〇メートル昇って第二段丘、この後又一〇〇メートル高まって第三段丘が出来た。この頃桑畑山の西にそって岩屋納屋を中心とする断層運動があり、第三段丘が出来てから久しく地盤が静止している間に谷底平野が幾つか出来、次いで田名部付近が一時凹んだ後二〇－七〇メートル隆起して第四段丘が出来た。この時の隆起は半島全体に広く起り、大体上部更新世に当るが、この頃桑畑山の西で再び断層運動が起り又褐色の火山灰が厚く積ったらしい。この後一時的に田名部付近は沈降し、次いで起った一〇－二〇メートルの隆起によって第五段丘が形成され、その後第三回の沈降が起った時には目名付近まで海が入っていたと考えられるのである。



【写真】大曲附近で道路につみ上げられた泥炭・家の庭にはこんで山形に積上げ乾かしているところもある。

＝多い泥炭土＝

（C）地質　先ず田名部周辺の台地を調査し、次いで北部海岸に移り、最後に恐山火山について研究した。先ず田名部低地帯の第四系の基盤をなすのは第三系鮮新統（浜田層）で、砂質又は浮石質の凝灰岩又は泥岩よりなり、ほぼ水平で田名部地方では地下五〇メートル位の浅い盆地に堆積している。この上に第四系洪積統の田名部累層（野辺地層）が明かに不整合に乗っているが、これは下半部と上半部とに分けることが出来、海水－淡水性の生物遺体が含まれている。この上に段丘砂礫層があって、これを褐色の火山灰層が広く被っており、ここまで洪積統に含まれる。最も新しい沖積統のものとしては、砂丘砂層、粘土層、泥炭層などがあって、この上の表土層の上に現棲の生物が見られる訳である。

一方、半島の西半部にそびえる恐山については、その基盤が第三系よりなることが分り、薬研層、曾古部層、小目名層に三区分した。そして従来の考えと異って、恐山火山の大部分を造る約三〇〇平方キロにわたって拡がる石英安山岩質の角礫質凝灰岩層は、田名部累層と同時に出来たものであることが明かになった。当時の火口はウソリ湖附近にあったらしく、殆ど同時に円山（マルヤマ）、大尽（オオヅクシ）山、剣山（ツルギノヤマ）山の熔岩が噴出し、一寸おくれて釜臥山、ずっとおくれて障子山熔岩が噴出したと考えられる。これらの岩石を被う褐色火山灰層はずっと新しい噴出によることが分った。

（D）土壌　田名部町土壌調査の結果をとりまとめ、一三土壌群、二三土壌統に区分し、それぞれの断面形態、母材、排水、土地利用、肥沃度、面積を調べ、営理上に必要な注意を与え、一般の活用にそえることが出来た。又本地方の特色の一つである泥炭土について、ハンドボーリング調査により発達史を調査し、又種々な試料について断面形態、深さ、比重、吸湿水、孔隙率、収縮率、植物遺体、花粉分析等を検討した。

＝自噴する地下水＝

（E）植物生態　金曲（カナマガリ）泥炭地を中心とし、各群落別の現存量と、地下水位、含水量、地下水の水質、土壌及び植物体中の栄養塩類含有量との関係を分析した。泥炭は分解が進んでいるが、窒素、燐酸に乏しく、地下水中の酸素量にも乏しい。植物の塩類吸収量は泥炭中の栄養塩類の量と通気性とに左右され、これらは泥炭の水分条件に規定され、結局地下水位による生育の差、及び泥炭地内での各種類の分布となって表れていることが分った。

（F）陸水　先づ田名部平野で広く使用されている深層地下水について、これが恐山からと東部台地からとの二系統より成ることを水温、水質、深度などから確認し、これを灌漑用水に使用することが冷害の一因をなすことを知った。又各水系別に水温、流量、水質を調べ、それがどの地区の水田にかけられるかを調査して、反当収量と比較した結果、稲作が強く水温に左右されていること、水温一度Cの上昇が反収三斗内外の増収として表れ得ることなどを明かにし、今後の灌漑方法につき示唆を与えることが出来た。

＝ブラキストン線の価値に再検討＝

（G）生物相　動物関係は目下研究途上にある。植物相の中私は維管束植物（シダ植物と顕花植物）の調査を分担し、田名部町周辺の泥炭地、恐山火山上部、東部沿岸地帯を踏査した。別に西部山地と沿岸地帯の材料を入手し、約六〇〇種以上の研究を終えたが未検の標本が多数にあり、産する全種類数は遥に多くなる見込[illegible]る。下北半島は位置的には表[illegible]にあるにもかかわらず、植物[illegible]裏日本タイプに属し、このこ[illegible]指標種の産と林相とから結論[illegible]気候学部門の結論に合致する[illegible]方、低地帯にミヤミコザサ系[illegible]が広く分布すること、海岸沿[illegible]カシワ林が広く見られること[illegible]は北海道太平洋側の地域（東[illegible]道）と同一性格と見られる。

植物分布上ブラキストン線がどれ程の価値を有するかの再検討には、まだまだ資料と時間とが不足で結論めいた事は言えない。然し相当数の種類がこの地域を北限とすることが明かになった。又逆に北海道が南限分布地とされていたものも新たに見出されたりしている。今の所の憶測では本州区系区の北限が渡島半島基部に存するという従来の説に変改はないにしても、津軽海峡が過去に果して来た分布への役割は、更に詳細に判明するに違いないし、また従来よりも重い価が出るであろうと思う。

＝望まれる環境の合理化＝

以上は何れも純科学的な立場からの研究成果概要である。私達はこれらの報文集を学界、有識者に呈すると共に、内容を平易なもの[illegible]

ブラキストン線とは

津軽海峡を境にして本州の哺乳類および鳥類の分布状態と北海道のそれとは異っている。このことを発見した英人ブラキストン氏にちなんでその境界線としてブラキストン線と命名した。

卒業生をおくる

＝社会の期待にそむかずに＝

戦後しばらくはインフレのため落着いて学業を修めることは出来ずアルバイトにて生計費の大部分を補なはねばならないのが吾国一般学生の実状であった。学生アルバイトといえば常識的には家庭教師等であるが、戦後の学生は一般労働者の中に入り混って行う道路工事、荷物運送等の肉体労働に従事して学習と並行させるのに大いに苦しんだ。その後占領が解除され、自主独立となってからはインフレも緩和され生活水準も高まって来たので学生自身同学の意欲が次第に燃え上り来り、一方先に発足した新制大学が漸く内容を充実して来たので、かっては名ばかりの学生生活も本質的の学究生活に転換するに到ったが、諸君が本学に入学したのは丁度この時期であった。

四年に亘る大学生活を回顧し各人共通のものを求めれば東薬祭、文化および体育祭で活躍したことが最も印象的に浮ぶことであろう。東薬祭は現代の薬学の一展望である。平素の授業では薬学の基礎的な部門を修めるのに忙しくて特定の場所に立ち寄り深く掘り下げることは出来ないが、この薬学展示会ともなればテーマを現代の問題点すなわちビタミン剤または麻酔剤等に絞り出してこれを学内共通の研究題目とし薬品合成薬品分析製剤微生物衛生裁判等の各専門の見地より資料を集め授業の終った午後或は休暇の前後の余暇に実験室を利用して各種のデータをつくり、これを当日展示するのであって、しかも殆んど全部が学生自身の手で企画され、実行されるのであるから、諸君にとっては文献調査に従事しつつ基礎的な知識を持つことが出来て誠に有意義であったと考える。

また体育祭、文化祭にても同好のグループが相寄り相集つて各自のもつ特殊技能を出し合い競い合って作成した共同製品を誇示し合って楽しむのであるから後になって東薬時代を回顧する時に、これが大きな共通の話題となることはいうまでもない。

さて数旬にして諸君は卒業して待望の薬学士となるとかく世間の人は「大学を出ても大して役にたゝぬ」といい、また大学出よりも学歴のない社員の方がよく仕事をすると批判的なことがまゝある薬学士に対する社会人の大きな期待から出た批判とも考えられるが、しかしこのまま聞き流すことも出来ない。

人間は誰でも職業を持つべきものであるから永い年月をかけ高額の月謝を払って薬学士となったのに社会人の期待に合った力を持っていないとすればそれは本当に困ったことでもある。

そこでこれ等の批判の根本原因を考えてみるに、薬学士を使う人達の人格とか品性とかが殆んど問題にされないで、使われる薬学士の方だけが主として批判の対象となっているようで、これは誠に不公平である。

大学は単なる職業教育の場ではない、実際に使う側が大学というものの性格をよく理解しているならば役にたたぬという言葉を簡単にはいえないと思う。大学は職業的なこと、実務的なことをもちろん習得させるのであるが、これ以外にも人間形成という大きな課題を背負っている。元来大学では卒業生が配属された職場にて直に一人前に働くことのみを目標としてはいない、またどんな大学でも四年位の大学教育だけで人間形成を果しつつ職業上の技術を完成させることはまず出来ないと思う。

大学で卒業生に期待していることは職業に関する技術や智識の基礎的なものを修得すると同時にこれを運営する人間の根本的な態度や原則を身につけることである。よってこの主目標から一歩外れたところで薬学士を掴えて使ってみてもそれは唯の青年であり、特技のない一社員にすぎない場合も起り得るのである。

これ等の批判を少しでも緩和するために大学でも適当と思う処置を工夫している。たとえば学外の職業人を講師として招きその体験より割り出した職業教育を担当してもらい職場に直結する講義を準備している次第である。

大学の職業教育を一般論として批判してみては意味はない。つまり社会の要求は一時的な頓服薬的な処置である場合が多いために僅な理由で時々に変更する。その変化の度毎に大学教育を変化していてはたまったものではない、お互に広い視野にたって大学と実務家とが常に健康的で恒久的な関連性を維持して大学教育の成長に努力したいものである。

ともあれ諸君はいよいよ卒業である。別れゆく諸君の中には営業部に入るものもあろう、この方面で能率をあげるには、訪問先の病院や薬局にて自分の個性を充分に発揮して相手に強い印象を与え、人間的な連鎖を深めることにより「どうも彼の言葉はきいてやらねばならぬ」というところにまで持っていくべきで、巧言麗色や御馳走政策では永続性はなく自然科学の分野に育つ相手の心を捕えることは不可能である。また研究室入りの諸君はまず指導者に対して信頼と柔順で終始しあたえられた仕事に全力を尽すべきである。盲従してはならぬが批判的であることは許されない、然し適当なる資料があれば敢然として進言する気構えが必要である。

また家に帰り父祖の薬業を継ぎ、或は新に開局する諸君は大衆のよき健康監理者となる心掛けが大切で、単に病気に対する薬品の紹介者で満足してはならぬ、公衆衛生の立場から自己の智識を最大限に活用すべきである。

数旬にして諸君は社会に出てゆく、そしてこの次の巡り会う日までにはめいめいが発展的変化をとげて互に満足した顔をみせ合うであろうことを期待しながら、私もこれで若干の社会奉仕が出来たとひそかに喜ぶ次第である。

いし　わたり　さぶ　ろう
石渡三郎

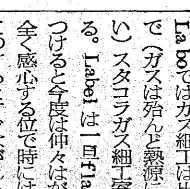
（筆者薬化学教室教授男子部四年主任）

ノース・カロライナ便り

便利過ぎるのが不便

フットボールに熱狂する教授連

加藤鉄三



（東）薬学生新聞拝受懐しく拝見致しました。もうそろそろ二カ月経ちましたが、二カ月経ったと言うよりあと九カ月しか居られないという気持です。大分慣れて参りましたが御約束の見聞記を御報告する段階迄は達せず、Chapel Hillの街に閉じこもりっきりです。

（化）学教室内はやっと不自由なく利用出来る様になりました。確かに立派な設備で、U.V., I.R., Cornst. Temp Room, Vacuum Destl. Room etcのとゞく限りの設備で羨しいものです。然し面白いものであらゆる近代設備は整っていますが、つまらないものが無いので弱ります。例えばスポイト（これは英語では無い様でSuplyoomで大汗をかきました）が此処には無い。ある事はありますが小さいもの許り。又薬包紙も此処では使っていない。コルベンやClaisen の小さい奴は余り使はない。Sebelは無いので自分で作ろうと思っても自分のLaboではガス細工は出来ないので（ガスは殆んど熱源には用いない）スタコラガス細工室迄出かける。Labelは一旦flaskにはりつけると今度は仲々はがれない。全く感心する位で時には日本の水につけるとすぐはがれるLabelを懐しく思います。コルベンも頑丈そのもので一寸やそこらたゝいても壊れず、大分乱暴にあつかっていますが未だ一ケも壊しません。これではガラス屋がもうからないだろうと思う位。学校には専属のガラス屋が居り、これが仲々権力があります。ガラス細工をunderGraduate（これは東薬の学生諸子に相当、特に三年、四年が地下の共同実験室で盛に同じ様な事をやっています）にtechniqueを教えています。Universal Joint（こちらではtaperといいます、共通すり合せ）は此の人が作りますが頑丈ですが恐しく不格構なもの、こわれはするが日本のせんさいなものを時には又懐しく思ってます。という訳で大道具には事欠きませんが小道具は寧ろ日本のものが便利といった所です。

（学）生の方は時々彼らの実験をのぞきますが、教授は講義丈の様で実習指導はGraduate Studentsがやって居ります。これは大学院学生に相当するもので Dep of Chemの主体をなしています。Graduate Stude[illegible]十人位居りますが私の[illegible]groupには十人位で、古[illegible]業後十年近くというのも[illegible]すが平均六、七年といっ[illegible]です。各自個室を持ち彼[illegible]よく実験しています。教[illegible]導の大半はこのGradu[illegible]dentsに費される様でし[illegible]Doctor thesisを如何[illegible]出させるかというのが数[illegible]という所でしょうか。私[illegible]Dr. Bunnett は多忙[illegible]で、しよつ中講演旅行[illegible]と出かけてますが、実に[illegible]maとIdeaをもっている[illegible]大いに得る所がありまし[illegible]

（学）生気質と言う[illegible]だundergra[illegible]の諸君とは交際するcha[illegible]く、主にGraduate St[illegible]が話相手なのでこれは前[illegible]通り、日本の大学で言え[illegible]気質は大分消えている様[illegible]れでも仲々愉快なのが居[illegible]目下はFoot Ballのシ[illegible]これは又日本の野球みた[illegible]するもの。一度見ました[illegible]人選手の怪我が出ましたが見物の人はいい気なものです。その中見物人の方で興奮してあばれ出す有様で、その中大学院の学生が目立ってあばれてきました。このgameは私の教室に居る、やはり私と同じ立場のDr, Reinheimerと言うOhioのCollegeのProfがFoot Ball狂で小生を連れて行って呉れたのですが、最初おっとり見ていましたが、その中先生が独りで興奮し出しゲームよりこちらの方が面白かったです。食事は昼に先生方と一緒にとります。会話に段々慣れて来ると話題はいづこも用じと言う感じ。税金の高い話、奥さんが新らしく自動皿洗器を買った話、仕事の話。

新聞は時々読んでいます。この意味は例えば日曜にNew York Timesを買うと現在の私には一週間かかります。総頁が一三〇頁位でそれに附録付。地方新聞もこれにならってるので、毎日新聞を買う気にはなれません。それに地方新聞の大見出しは大体、写真入の自動車事故。それでもソ連の人工衛星のNewsは大分こちらにShockを与えた様です。新聞の漫画等にも極端にこの焦りが見られる様でした。科学者を優遇せよというThemaの漫画が時々見られました。

（こ）の大学の研究室の中では、アメリカの動きの極めて断片しかうかがい知ること[illegible]

就職

都市集中の傾向

目を向けよ地方への進出

昨年は女子の就職難が問題[illegible]れていたようである。一般に[illegible]気になって来たと言えばそれ[illegible]であるが、女子だけこう就職[illegible]悪いのは何故であろうか？や[illegible]男子に比べ女子は勤務年限が[illegible]或いは業務範囲が狭まい等の[illegible]で敬遠される一番の原因のよ[illegible]

いつも焼立
おいしいパン
如何なる御注文にも応じます
大森ベーカリー
台東区谷中坂町2番地
工場　荒川区町屋3～1121
電（82）4303

お気に召す調髪
東薬大指定
BARBER OKUBO
薬大通り声専前

皆様の
校内食堂
日本料理・中華料理・西洋料理

ドイツ・ヘキスト社の
心臓強化栄養剤
ちょっとしたことにもドキンと動悸が[illegible]
★心臓機能障害その他★
内服液 20CC 遮瓶 400円
カルニゲン
日本総代理店 日本ヘキスト株式会社・販売 興和新薬株式会社

あなたを
長命に導く

風邪に
アノヂンコール

100万人の
保健薬……
メチオニン入り綜合ビタミン、ミネラル製剤
ビタミネン
VITAMINEN MULTI VITAMINS MINERALS
12種のビタミンとメチオニン　11種のミネラルが入っています
KS 佐藤製薬株式会社 東京・品川

IWAKI SEIYAKU
MIZUTORI BRAND
・永い経験と厳密な試験・
水鳥印純良医薬品
☆日本薬局方・国民医薬品集医薬品
☆新薬新製剤・試薬
☆ビタミン・ホルモン・アルカロイド類
製造元　岩城製薬株式会社
本社　東京都中央区日本橋本町4の1
販売元　株式会社岩城商店
出張所　大阪・名古屋・福岡・富山

頭痛に
アノヂン

こしけに・・・
[illegible]
婦人の健康をむしばむ
大阪市東区道修町
藤沢薬品
トリコマイシンK錠

みんな
まっ白！
一度試して下さい
白地は雪のように
色物は色鮮やかになります
23g ￥60、43g ￥100
螢光染料
ホワイトシーツ
水島新本舗
エステー化学工業KK

アレ・ヒビ止
クーブ
40g 50円
★匂のない薬効クリーム
★オリーブの効果を生かした
★水仕事・ひげ剃後に
公定書外医薬品
ホワイトシーツ 水島本舗
エステー化学工業KK